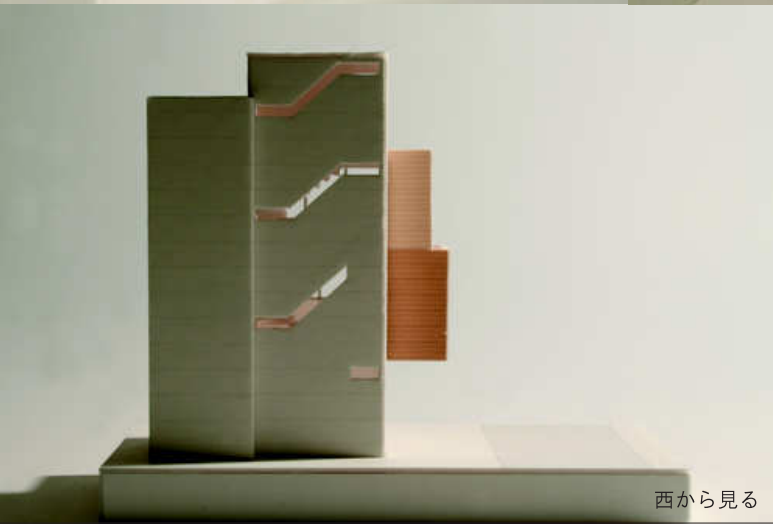
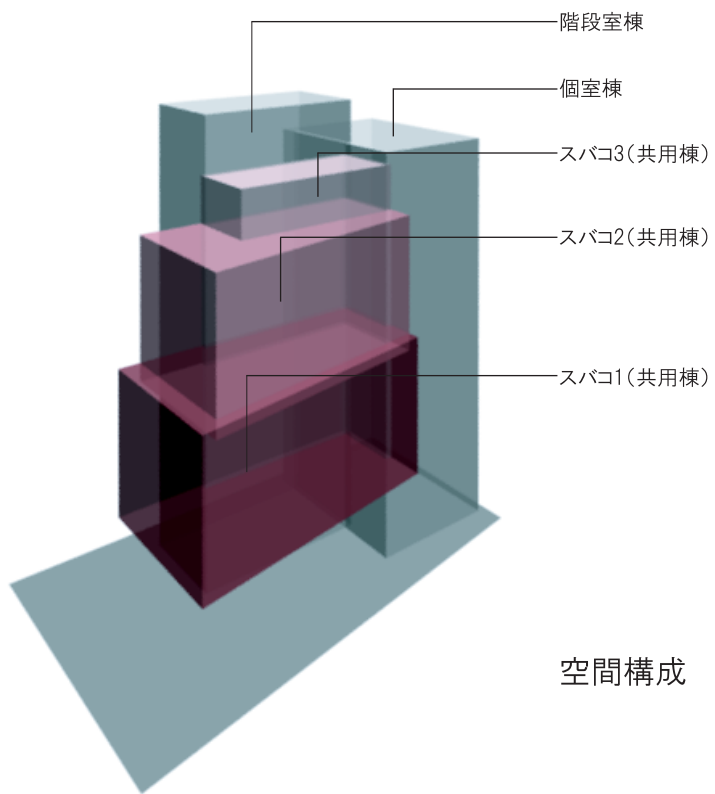


スバコ



概要

| | |
|----------------------------|----------------|
| 敷地面積 | 51.57㎡/15.63坪 |
| 建蔽率 | 60% |
| 容積率 | 200% |
| 用途地域 | 工業地域 |
| 準防火地域・第三種高度地区・河川法による河川保全地域 | |
| 建築可能面積 | 30.94㎡/9.37坪 |
| 可能延べ床面積 | 103.14㎡/31.25坪 |
| 南側道路幅員 | 4.4M |

■計画概要

| | |
|---------|---------------|
| 建築面積 | 30.69㎡/9.30坪 |
| 延べ床面積 | 86.05㎡/26.08坪 |
| 1F床面積 | 16.56㎡/5.02坪 |
| 2F床面積 | 30.69㎡/9.30坪 |
| 3F床面積 | 22.24㎡/6.74坪 |
| 4F床面積 | 16.56㎡/5.02坪 |
| テラス部分面積 | 4.97㎡/1.51坪 |

■仕上表

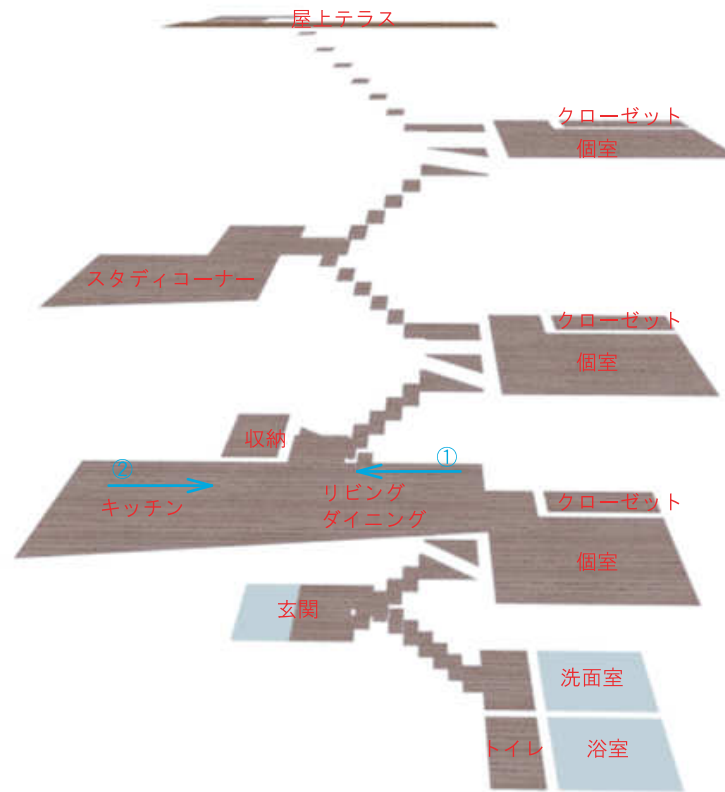
| | |
|------|--------------|
| 外部仕上 | |
| テラス | 木製無垢デッキ |
| 壁 | セメント板貼一部木製板貼 |
| 屋根 | ガルバリウム鋼板 |
| 内部仕上 | |
| 床 | 無垢フローリング |
| 壁 | AEP塗装 |
| 天井 | AEP塗装 |

空間を共用棟、個室棟、階段室棟の3つの箱に分けてスキップフロアでそれぞれをつなぎます。共用棟はさらに3つの箱に分かれ、外観のポイントとなります。

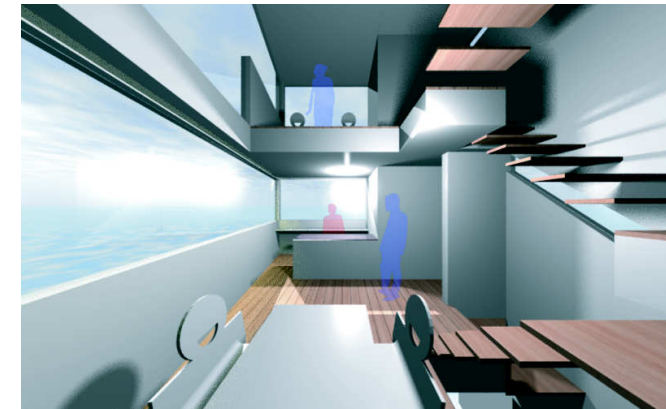
建蔽率60%をぎりぎりまで使って計画していますが、面積にゆとりがないため、共用部棟は吹き抜け、ロフトを利用して縦へと広がる空間を作ります。

また、個室ですべてをまかなうのではなく、キッチン、ダイニング、リビングだけでなく、スタディースペースも共有することで、狭小空間を豊かに、そして人の気配の感じられる住まいになるでしょう。

できるだけ空間を共有することで制限のある床面積を有効に使いながら家族間のコミュニケーションを大切にできる住まいを作りたいと考えています。



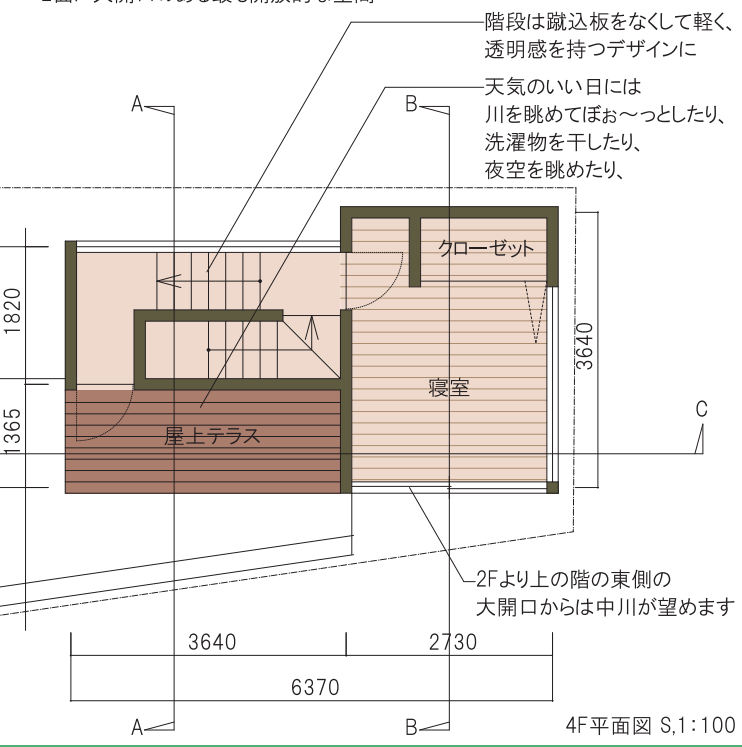
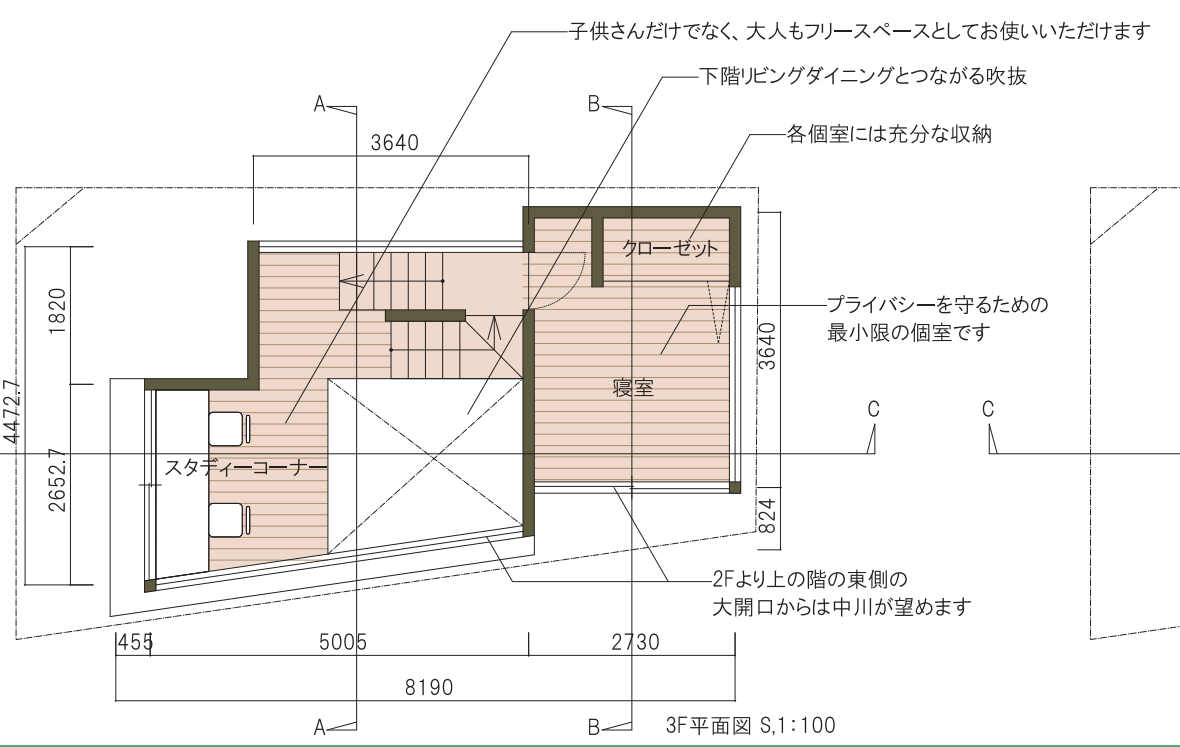
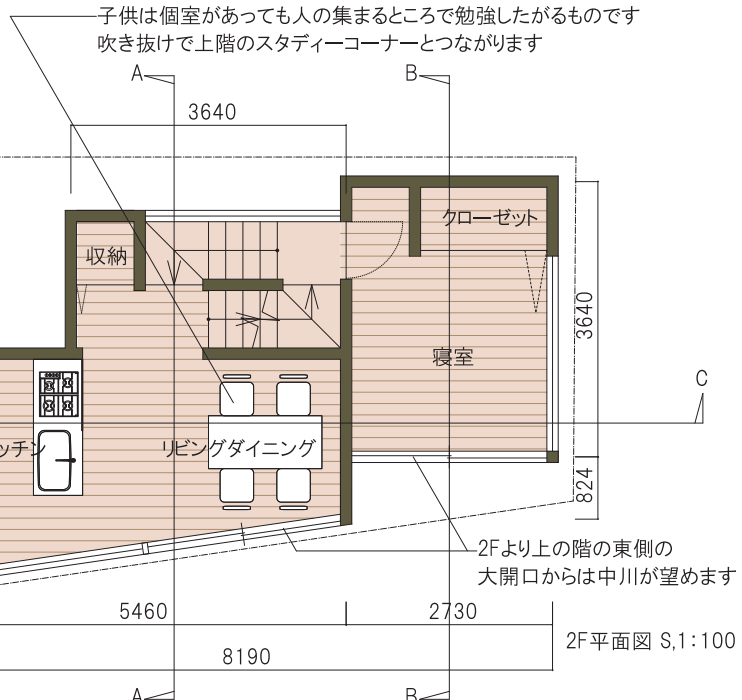
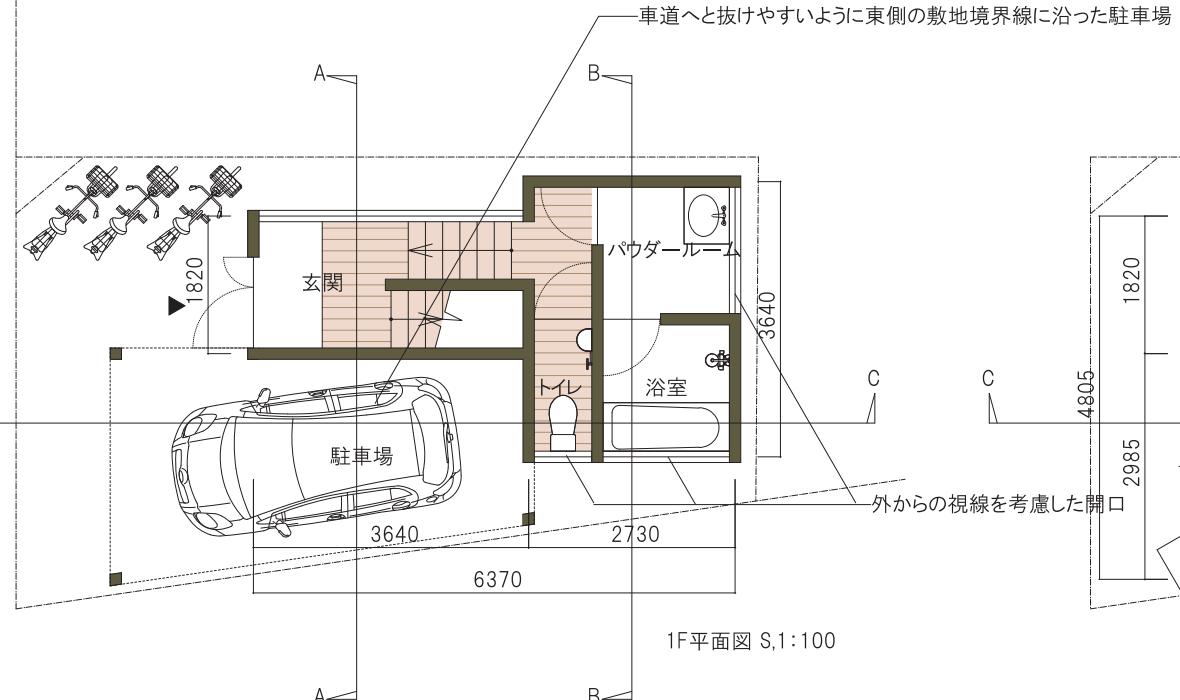
インテリアイメージ

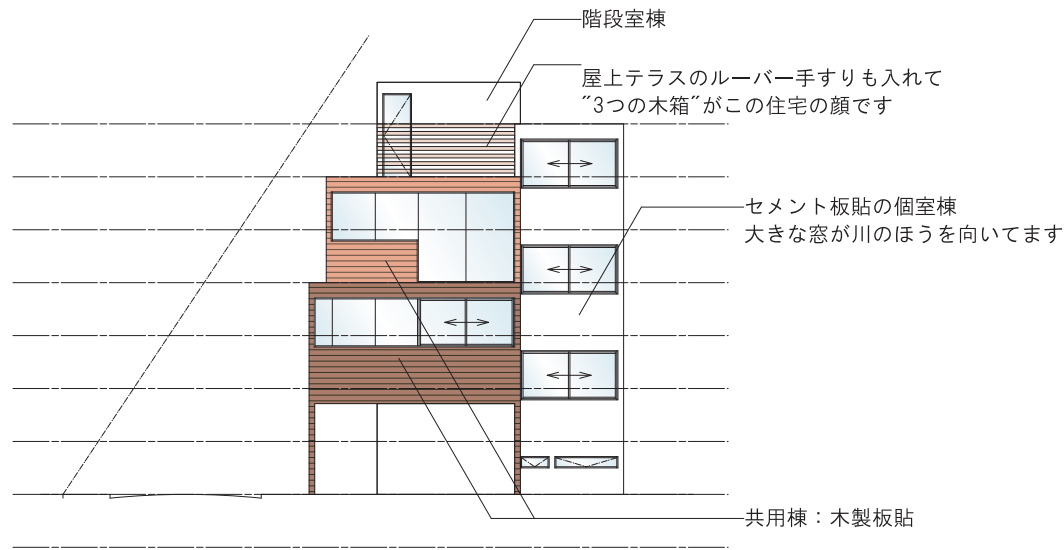


LDK視点①

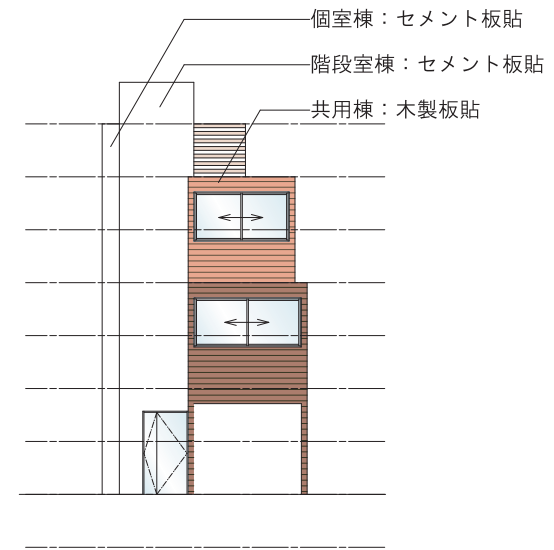


LDK視点②

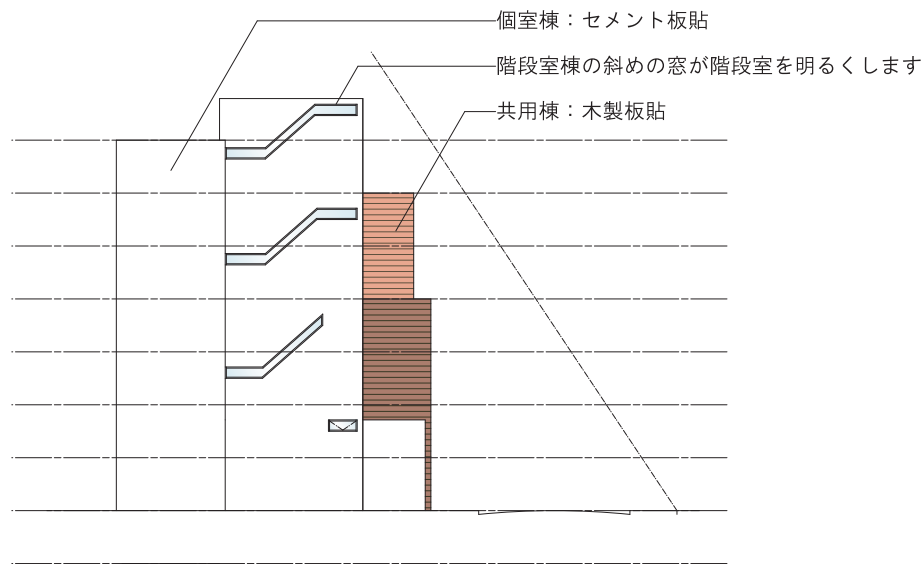




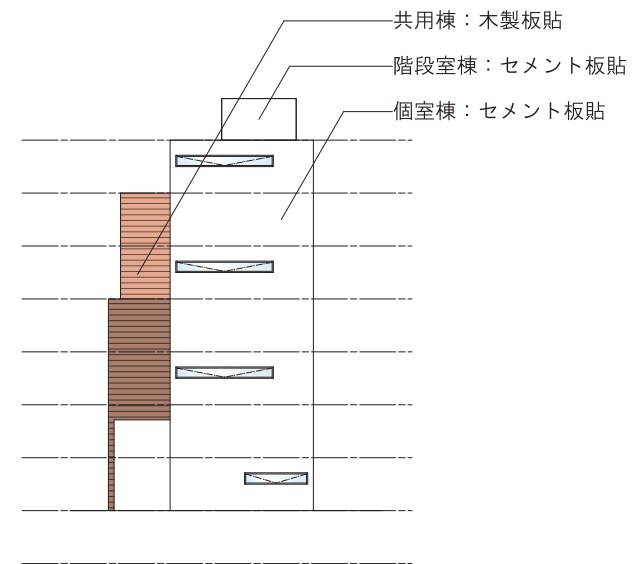
東側立面図 S,1:200



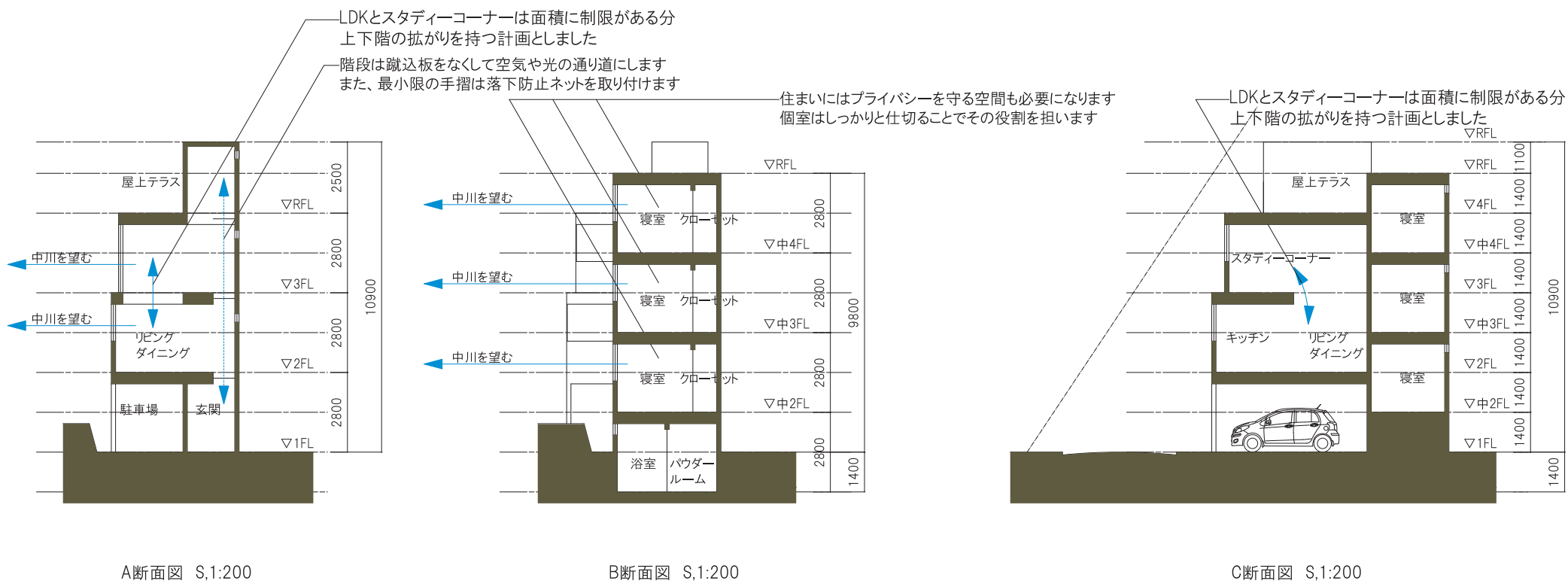
南側立面図 S,1:200



西側立面図 S,1:200



北側立面図 S,1:200



A断面図 S,1:200

B断面図 S,1:200

C断面図 S,1:200

全体を性格の異なる3つの棟に分け、スキップフロアでつなぐことでそれぞれの機能や縦への拡がりを確保しています。

宙に浮いたような共用棟は、吹き抜けを介して1室空間とし、住宅の要となります。

個室棟はしっかりと仕切り、プライベートを守ります。

暗くなりがちな階段室は蹴込板の部分を通し、窓からの光を充満させることで閉塞感を取り除くと共に、空気の流れも作ります。